



青少年にかほ

第 33 号

〔発行〕
青少年育成にかほ市民会議
〔事務局〕
生涯学習課内 ☎38-2171



松島中学校と交流「第 14 回中学生リーダー研修会」



子は宝である

青少年育成にかほ市民会議

会 長 須 田 壽 夫

さて、長い間子どもに接してきて感じたことをお話し
たいと思います。私にも二人の子どもがおりますが、自
分の子どもでも育てるのは大変でした。赤ちゃんからの
成長の段階で子どもと接する親の姿勢が違っていたこと
に気が付いたのは、上の子が小学生になってからだったで
しょうか。それまでは子どもは生まれたら、あまり大人が手
をかけなくても一人で大きくなると考えていたので、子
育てについて深く考えたことがありませんでした。

しかし、下の子が生まれると考え方が変わりました。
それは「三つ子の魂百まで」でありました。いかに小さ
い時にちゃんとした「しつけ」をしないといけないかを
知ることができました。また「鉄は熱いうちに打て」と
いう言葉があります。人間は育て方によっていかように
も育つということです。そして、子どもは周りの人たち
にも育てられる、それがこの会の趣旨です。自分の子ど
もだけでなく、子ども全体のことを考えることが大切
で、それによって社会全体が良くなることになります。
よその子どもにも注意することは難しいですが、全体で考
え方を一緒にもっていくことは可能です。

子どもは宝ですから、行政でも子どもたちに投資する
ことは大切です。幸いにして、にかほ市においてはご理
解を得てご支援をいただいていることに心から感謝申し
上げます。やがてこの子ども達は、にかほ市に住み続け
るか否かにかかわらず、立派な大人になることは間違い
ありません。これからにかほ市の子どもの達に心からご
支援賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、私は、この度をもって会長を辞す
ることといたします。長い間市民の皆様には、大変お世
話になり心から感謝申し上げます。



▲受賞者のみなさん

失敗や挫折を恐れなくて！ 郷土の偉人に学ぶ作文コンクール

総務部会

「郷土の偉人に学ぶ作文コンクール」の表彰式・優秀作品発表会を2月28日、金浦公民館で開催しました。

今回は、南極探検家白瀬轟をテーマとした小学校5年生の部に133編、TDK創業者齋藤憲三をテーマとした中学校2年生の部に136編の応募がありました。審査の結果、それぞれ6編を優秀作品として選出し、表彰しました。

作文発表では、地道な努力の大切

さ、失敗や挫折の克服について学んだこと、そして、自分が目指す将来の目標について児童生徒から語られました。

須田壽夫審査委員長は、講評の中で、「児童生徒の作文に感銘を受けた。今回学んだことが、挑戦する心を大切に、忍耐力のある大人になる礎となることを確信している」と述べました。

入賞作品は次のとおりです(敬称略)。

〈小学校5年生の部〉

最優秀賞 川内 遼太郎 (平沢小)
優秀賞 大石 真優菜 (院内小)

同 佐藤 結愛 (院内小)

同 小川 いちか (平沢小)

同 戸部 胡美 (院内小)

同 佐藤 ひかり (院内小)

〈中学校2年生の部〉

最優秀賞 鈴木 花 (仁賀保中)
優秀賞 高橋 梨花 (金浦中)

同 伊東 千博 (象潟中)

同 熊谷 愛菜 (金浦中)

同 工藤 菜都美 (象潟中)

同 齋藤 優香 (象潟中)

※最優秀賞作品は4ページに掲載

夏休み 冬休み お祭り

「地域活動推進助成金」を ご活用ください！

対象団体

自治会・町内会等の範囲（複数地区でも可）で活動する団体

例：自治会、町内会、子供神楽保存会、子供会、地区PTAなど

対象事業

青少年健全育成を目的とした以下の事業

- ①伝承芸能の継承に関する事業
- ②子供会・少年会活動に関する事業
- ③PTA活動に関する事業
- ④青少年の見守り活動に関する事業

助成金額

事業費の2分の1以内。上限は1万円ですが、「②子供会等の事業」については、子ども1人当たり300円の総額と1万円を比較して低額な方を上限額とします。

※単年度内で2回申請できます

詳しくは下記にご連絡ください！

青少年育成にかほ市民会議（生涯学習課内）

☎0184-38-2171

青少年を犯罪から守ろう 地区推進委員会合同研修会

地域環境部会

闇バイトや特殊詐欺など、全国で多発している犯罪から青少年を守るため、7月14日に「今必要な防犯対策」をテーマに地区推進委員と市民会議役員等を対象とした合同研修会を開催しました。

研修では、由利本荘警察署員から最新の犯罪事情を、また、（一社）リエゾン代表理事小林裕高氏からは市内の空き家事情の報告がありました。

社会環境の変化に伴い、犯罪の形態も変わっていますが、ニュースを

自分事と捉え、未来ある青少年が犯罪に巻き込まれないよう、地域の環境づくりに一層取り組みを行うことができました。



▲地区推進委員会合同研修会

にかほ市へようこそ！

第14回中学生リーダー研修会

青少年
活動部会

生徒会役員などを務める中学生を対象として、学校や地域社会に貢献できる人材の育成を目的とした研修会を7月31日と8月1日に開催し、市内3校と夫婦町である宮城県松島中学校から計30名の生徒が参加しました。

今年度にはかほ市を会場に1泊2日の日程で行い、松島中学校の生徒との交流を楽しみました。



▲災害時の避難所運営を体験

1日目は、にかほ市在住防災士齊藤亜希さんによる、「私たちが主役！地域を守る防災リーダーになろう！」と題した講話からスタートしました。災害と防災の基礎を学び、避難所運営HUGを体験しました。カードに書いてある避難者をどこに配置させるかをグループで知恵を出し合い協力しながら取り組んでいました。



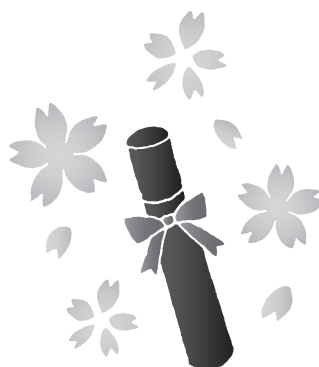
▲AIによるCMづくりを体験

や、電子素材部品の開発や製造について知ることができました。

2日目は、「学んだことを30秒で伝えよう！」AIを使ってCMを作ってみよう」と題して、リーダーに必要なことを仁賀保高校生徒会の皆さんと一緒に考え、素材集め・絵コンテ・撮影・ナレーションまでを30秒間のCMを制作に挑戦しました。苦勞する面が多くみられましたが、短い時間の中で完成させました。視点はそれぞれ違うものの、「リーダーとは？」が伝わってくるCMでした。

参加した生徒からは「リーダーは決断を下す時に不安が伴うけれど仲間

間に助けを求めるのが大事だと気付いた」「学びを生かして責任感を持ちつつ周囲の人に寄り添えるリーダーになりたい」との感想が寄せられました。松島町との繋がりはこれからも絶やさずに、生徒にとって思い出に残るような研修会を実施していきたいと思っています。



みんな元気に「おはよう！こんにちは！」

登校時一斉「あったか声かけ運動」

全 体

青少年育成にかほ市民会議では、

地域の大人が青少年に進んであいさつし、「地域の子どもは地域で守り育てる」という社会風潮をつくることを目的に、原則、毎月第1月曜日に、市内各小・中学校や各駅において、登校時一斉「あったか声かけ運動」を実施しています。

一般市民の方もいっしょに参加できる活動として、なお一層の充実を図っていきます。

※実施日については、市広報のカレンダーにも掲載しています。

令和8年度登校時一斉「あったか声かけ運動」

《実施日》

* 4月8日(水) * 5月7日(木)
* 6月1日(月) * 7月6日(月)...

※4月は、各学校の始業式に合わせて行います

《活動時間》

各小・中学校、仁賀保・金浦駅
→7時20分～7時45分
象潟駅
→7時00分～7時15分

郷土の偉人に学ぶ作文コンクール 最優秀賞作品のご紹介

＊＊小学校5年生の部＊＊

テーマ 「白瀬轟に学ぶ」

夢へ一歩ふみ出す

～白瀬轟の人生を学んで～

平沢小学校

川内遼太郎さん

白瀬轟は、今のぼくと同じ十一才から、北極を探検するという自分の夢に向かって、五つの戒めを守り通した。今のぼくに当てはめれば、「ゲームをするな、マンガを読むな」みたいなものだ。がまんが苦手なぼくには、まねできないとはじめは思った。

ぼくの将来の夢は、医者になることだ。特に興味があるのは、新生児の命を救うNICU（新生児集中治療室）だ。夢をかなえるためにぼくも「戒め」を作る。うっかりミスが多いので、自分の行いをしっかり見直しするくせをつける。人の話を注意深く聞く。人の命を預かる医者には、うっかりミスは許されない。

白瀬は北極探検を志していたけれど、アメリカのピアリーに先をこされちゃった。しかし、彼はそこであきらめずに、南極点に思い切った進路を変えた。ぼくは、難しい問題にぶつかったら、イライラして集中力をなくしたり、ふきげんになって親とケンカしたりする。このままではだめだと思う。ぼくのもう一つの「戒め」は、イライラしないことだ。

＊＊中学校2年生の部＊＊

テーマ 「齋藤憲三に学ぶ」

挫折を乗り越えたその先

仁賀保中学校

鈴木 音花さん

白瀬は、大和雪原で探検隊が力つきたとき、自分の長年の夢をかなえるため、仲間が無理をさせるのではなく、仲間を思いやって引き返すことを決断した。四十年近く、夢に向かってひたすら努力を積み重ねてきたのに、その直前で夢をあきらめた白瀬をかわいそうだなと思った。でも、だれ一人死なせることなく、無事生還させた白瀬は、勇気あるやさしい人だ。そして、カラフト犬二十頭を南極に置きざりにしなければならなかった白瀬の気持ちを感じると思う。

医者としてNICUで働くという夢をかなえるため、ぼくはぼくの「戒め」を守り通す。そして、毎日の勉強を積み重ねる。剣道では先生の教えをよく聞いて練習し、勝つ。

白瀬の人生を知ったことは、ぼくの夢をかなえるための、大きな一歩である。

私は、齋藤憲三をTDKの創立者として認識していました。しかし、そこにたどり着くまでにたくさんの困難を乗り越えてきたことがわかりました。

齋藤憲三の生き方を見て、私は感銘を受け、私もこうなりたいと、自分の将来像をみつけることができました。私には、大きな目標があります。それは、古生物学者になることです。しかし、古生物学者になるためには、たくさんさんの知識や技術だけでなく、強い気持ちが必要だと思います。努力はすぐに結果が出るものではなく、努力しても思うように成長しない場合もあります。ですが、そこであきらめてしまえば、そこで成長は止まってしまいます。

齋藤憲三は、多くの困難に直面しながらも、自分の信念を曲げず、挑戦し続けてきました。その姿から私は、失敗や壁にぶつかったときこそ、自分を見つめ直し、前に進んでいくことが大切だと学びました。

私もこれから、思い通りにいかないことや、自信を失ってしまう場面に出会おうと思います。それでも、何度挫折しようと思わずに向き合い、新しい自分になるために努力を続けていきたいです。

齋藤憲三は、自分の研究だけに向き合うのではなく、周囲の人々との関わりを大切にしながら、地道な努力を重ねてきました。その姿から私は、成果だけでなく、日々の姿勢や人との向き合い方こそが、その人の生き方を表すのだと感じました。私も、目の前のことから逃げずに、小さな努力を積み重ね、周りの人に信頼される存在になりたいです。そして、失敗した経験や悩んだ時期も、決して無駄ではなく、次に進むための大切な学びになると考えることができました。そのため、将来は、結果だけで人を判断するのではなく、そこに至るまでの努力や過程を大切にできる人になりたいです。

編集後記

にかほ市に生まれ、にかほ市で育って十一年、十四年。小学校五年生、中学校二年生である。青少年育成にかほ市民会議では、その記念すべき年に、二人の偉人を紹介し、学んでもらうことにしている。白瀬中尉と齋藤憲三についてである。

授業で取り組んだり、自分で調べたり。名前を知るだけでなく、その生き方を知り、自分を見つめ直すきっかけにしたいとの願いからである。

今年度も、どの学校でもとり組んでくださり、たくさん応募してくださった。ありがとうございました。

(青少年育成にかほ市民会議

副会長 新田 協子)

あいさつで
みんなの心に 春が来る

青少年健全育成運動
実施中

3月16日～4月20日

